

## 1. 松宮義晴 総論：水産資源の管理と保全—シンポジウムや成書からみた研究の動向—

### 1章 海域環境保全へ向けての展望

- 2. 立川賢一……………新海洋秩序時代の海域環境保全と水産資源管理の接点
- 3. 池島 耕……………沿岸域の貧酸素層が魚類に及ぼす影響
- 4. 花輪伸一……………シギ・チドリ類の保護と干潟の環境問題
- 5. 小松輝久・立川賢一……………藻場と水産資源
- 6. 白木原国雄……………沿岸性鯨類の生態と保全
- 7. 宮崎信之……………海棲哺乳類が直面している有機塩素系化合物による汚染
- 8. 磯崎博司……………海洋環境および海洋生物の保全に関する法制度
- 9. 高橋正征……………海域環境の保全と漁業の諸問題

### 2章 水産資源管理の諸研究

- 10. 山川 卓……………イセエビの資源管理の現状と諸問題
- 11. 桜本和美・杉山秀樹……………秋田県ハタハタの漁獲量変動の予測モデルと禁漁効果
- 12. 堀井豊充……………五島列島小値賀町におけるアワビ資源の管理と乱獲への対応—
- 13. 平松一彦……………国際漁業委員会におけるまぐろ類の資源評価と資源管理
- 14. 和田恵子・時村宗春……………チューニング VPA について
- 15. 山田作太郎・北門利英……………資源管理研究におけるモデル（不確かさ、情報、決定）
- 16. 保正竜哉……………はじめての KAFS モデル

### 3章 加入管理の理論と実践

- 17. 松宮義晴・勝川俊雄・森山彰久・徳永和彦……………加入管理の実践と外国における事例
- 18. 和田時夫……………SPR 概念の活用と適用例
- 19. 平松一彦……………加入管理の概要と適用にあたっての留意点
- 20. 星野 昇……………繁殖価による評価を併用した資源管理モデル
- 21. 松田裕之……………エゾシカのフィードバック管理と水産資源管理の展望
- 22. 勝川俊雄……………Management Procedure と日本の資源管理型漁業

### 4章 水産資源の保全への新展開

- 23. 佐久間美明……………保全生物資源学的环境経済学的課題
- 24. 村上興正……………海洋漁業における生物多様性の保全と移入種利用
- 25. 松田裕之……………非定常生態系の保全と管理
- 26. 白井靖敏・原田泰志……………禁漁区の数理モデル
- 27. 岸田 達……………Precautionary approach に関する情勢
- 28. 松石 隆……………魚類の放流と生態系への影響
- 29. 今井千文……………資源管理における体長制限の有効性

### 5章 漁業実態からの新たな資源管理

- 30. 東海 正……………水産資源管理に向けた漁獲特性の解明
- 31. 山根 猛……………淡水漁業におけるテナガエビ資源の受動的な管理事例—琵琶湖テナガエビかご漁業を例として—
- 32. 杉山秀樹……………ハタハタの漁業実態と資源生態に基づく管理
- 33. 山口恭弘……………いかかご漁具の産卵床機能
- 34. 中西 孝……………漁業管理における合意形成
- 35. 川村軍蔵……………沿岸漁業者の立場からの資源管理・保全
- 36. 石田健一……………参加型による水産資源管理の可能性と展望
- 37. 古谷和夫……………持続可能な魚類養殖生産体制の確立をめざして
- 38. 田中昌一……………提言：水産資源学は研究は今何をなすべきか